

平成22年12月16日
於
府中市立教育センター

平成22年第12回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成22年第12回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成22年12月16日(木)
午後3時00分
閉 会 平成22年12月16日(木)
午後4時04分
- 2 会議録署名員
委 員 北 島 章 雄
委 員 糸 満 純一郎
- 3 出席委員
委員長 久 芳 美恵子 委員長職務代理者 崎 山 弘
委 員 谷 合 隆 一 委 員 北 島 章 雄
教育長 糸 満 純一郎
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 高 橋 脩 二 文化スポーツ部長 齋 田 文 雄
教育部参事 田 中 陽 子 文化振興課長 英 太 郎
兼学務保健課長 兼文化財担当主幹
総務課長 吉 野 寿 一 文化財担当副主幹 江 口 桂
総務課長補佐 月 岡 敏 浩 兼市史編纂担当副主幹
兼学校耐震化等推進担当副主幹 生涯学習推進担当副主幹 山 村 仁 志
学務保健課長補佐 中 村 孝 一 図書館長 桜 田 利 彦
給食担当副主幹 須 恵 正 之 図書館長補佐 坪 井 茂 美
指導室長補佐 桑 田 浩
指導室副主幹 新 藤 純 也
統括指導主事 金 子 真 吾
指導主事 長 井 満 敏
指導主事 国 富 尊
指導主事 小野満 賢
指導主事 大 津 嘉 則
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 田 中 啓 信
総務課主任 山 本 正 芳

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第28号議案

平成23年度府中市教育委員会の教育目標について

第29号議案

府中市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則

第30号議案

臨時代理による処理の承認を求めることについて

(府中市立学校教職員の人事異動について)

第4 報告・連絡

(1) 東京都教育委員会職員表彰について

(2) 府中ジュニアウィンドオーケストラ第25回定期演奏会について

(3) 武蔵国府跡の国史跡追加指定答申について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後3時00分開会

○委員長（久芳美恵子君） ただいまより、平成22年第12回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 本日の会議録署名員は、北島委員と糸満委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

○委員長（久芳美恵子君） 傍聴希望者がおりますが、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

では、お願いいたします。

傍聴の方に申し上げます。本日の第30号議案につきましては、資料に個人情報に記載されておりますので、配付資料を省略させていただいております。ご了承ください。

_____ ◇ _____

◎第28号議案 平成23年度府中市教育委員会の教育目標について

○委員長（久芳美恵子君） それでは、議案の審議に入ります。第28号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○統括指導主事（金子真吾君） 平成23年度府中市教育委員会の教育目標及び基本方針について、ご説明申し上げます。

平成23年度の小学校学習指導要領の全面実施に向けて、新教育課程への反映を踏まえ、追加変更を行いました。また、「第2次府中市生涯学習推進計画」及び「府中市学校教育プラン21」事業実施計画の第3期、重点的に取り組む課題の実施等を受けて、追加変更を行ったところでございます。

それでは、教育部にかかわる変更内容について、昨年度のものと比較して、変更した内容、その理由について、ポイントを絞りご説明申し上げます。

なお、資料の後ろ2枚には、変更した箇所について、二重線の見え消しで示してございます。そちらをごらんいただいたほうがよろしいかと思っております。

まず、前文の教育目標についての変更はございません。

次に、基本方針の1「人権尊重の教育の推進」についてでございます。

（1）の内容と（3）の内容の共通部分を統合し、文言を整理いたしました。

人権課題には、（3）に挙げる高齢者、障害がある人だけでなく、同和問題、女性、子どもなど、人権課題はそのほかにも含まれております。そこで、人権課題を個々に例示はせず、相互に支え合う社会の実現を目指すために、方向性を明示し、文言を整理いたしました。

（4）については、家庭や地域とより一層の連携を進めるために、「道徳授業地区公開講座を開催し」と、具体的な事業を加筆いたしました。

次に、基本方針の2「豊かな個性と創造力を伸長する教育の推進」についてでございます。

四角囲いの中については、「自己の確立を目指す教育」から「生きる力をはぐくむ教育を推進

する」に変更いたしました。これは、学習指導要領の全面実施を受け、学習指導要領の基本理念をより明確に示すために、「自己の確立を目指す教育」の表現から「生きる力をはぐくむ」との変更でございます。

(6)については、特別支援教育の理念の一つである、すべての学校で実施するということは、すべての教員がかかわるということでもあります。このことから、「教育相談を充実」の表現から、具体的なかかわりを示す「校内委員会」と変更するとともに、具体的な内容である「交流及び共同学習」を加筆したものでございます。

(9)については、パーソナルコンピュータ等の活用及び啓発に際しまして、ソフト面、ハード面については、一定の目標を達成していることから、「情報教育の充実」の文言を削除いたしました。

(10)については、小学校外国語活動が移行期間を終え、全面実施となったことを受けて、全面的に改定を行ったものでございます。

(11)については、「府中市学校教育プラン21」事業実施計画の第3期、重点的に取り組む課題である小・中一貫教育を受け、「より円滑な接続と一貫した指導の充実に取り組む」との文言を加筆したものでございます。

次に、基本方針の3「健全育成の推進と社会貢献の精神の育成」についてでございます。

(1)については、健全育成にかかわる内容と体験活動にかかわる内容が併記されていたことから、体験活動にかかわる内容を(2)として新たな項を加えました。また、文章構成を「セーフティ教室の開催などを通じて、問題行動を防止し犯罪から身を守る教育の充実を図る」の表現に改めております。

(2)については、「府中市学校教育プラン21」事業実施計画の第3期、重点的に取り組む課題であるセカンドスクールの開設を受け、文言を加筆したものでございます。

(4)については、いじめ、不登校については、喫緊の課題であり、未然防止を図ることを意図とし、家庭や関係機関との密接な連携が一層重要になることから、文言を加筆しております。また、部分的な生活指導の表現から、より視点を広げるために「健全育成」と改めました。

(5)については、基本的な生活習慣の確立、ヘルスプロモーションの理念に基づいた健康の保持増進の取り組みなどの課題について、家庭、地域社会との連携及び、意図的・計画的な取り組みの重要性を強調することから加筆を行っております。

(9)については、環境教育の充実を図り、子どもたち自身に自ら解決に向けた具体的な行動をとることのできる力を育てることに重点を置いた表現の変更となっております。

教育部の最後になりますが、基本方針の4「市民の教育参加と学校経営の改革の推進」についてでございます。

(1)については、府中版コミュニティスクール実現に向けて、学校運営連絡協議会の発展・充実を図る方向性を明示するため、変更いたしました。

(2)については、学校教育の改善を図り、校長のリーダーシップの発揮を支援するため、本市で先進的に実施している第三者評価に関する文言を加筆いたしました。

教育部関係については、以上でご説明を終わります。

○生涯学習推進担当副主幹(山村仁志君) 続きまして、文化スポーツ部関係から、基本方針5と基本方針6について、ご説明申し上げます。

基本方針5「多様な学習機会を提供する生涯学習の拡充」の(5)ですが、「美術観賞の機会の充実に努める」の部分「充実を図る」に改め、また、「教育普及事業の拡充を図る」を「推進に努める」に改めました。これは、文言の整理で、前者の計画性、後者の教育普及事業の努力目標という形に改めたものです。

続きまして、基本方針6「総合的な地域教育力の向上と「学び返し」の推進」の(3)「生涯学習施設・機関」とありますものの「機関」を削除いたしました。これは、具体的には生涯学習センターのことを指しますので、「機関」という部分については省略をしたものです。

それから、(5)学習成果を生かす市民活動を促進するため、従前は「生涯学習ボランティア養成講座の充実とともに」と入っておりましたが、これを「ファシリテーター・サポーター養成講座」と改めました。これは、平成22年度から第2次生涯学習推進計画の重点事業として進めておりますファシリテーター・サポーター養成講座が、ボランティア養成講座のより拡充を図る意味で、「ファシリテーター・サポーター養成講座の充実」と改めたものです。

文化スポーツ部からは以上です。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。今、事務局からご説明いただきました。それぞれ大事なところを中心にご説明いただきましたけれども、どうぞご質問をいただきたいと思えます。

1つ私から確認させていただきたいのは、基本方針の4のところでございますが、「市民の教育参加と学校経営の改革の推進」のところでは、変える前のものと、地域の学校運営連絡協議会を府中版コミュニティ・スクールに位置づけるという内容でございますが、今回の改定によって、府中版コミュニティ・スクールの設置に向けて、学校連運営連絡協議会の発展・充実を図りということですから、以前のもはある程度位置づけが、連絡協議会が府中版コミュニティ・スクールだというような解釈もできると思うのですが、今回は、連絡協議会をより発展・充実をさせていって府中版のコミュニティ・スクールを設置するという、その方向性でいくという読みでよろしいでしょうか。

○統括指導主事(金子真吾君) こちらの変更の内容については、一昨年度、コミュニティ・スクール検討委員会立ち上げまして、学校運営連絡協議会を充実・発展させた形で、その中で付け加えられるもの、また、話し合いの中、モデル校を来年度から開設いたしますので、それらの試行の内容や検討結果を踏まえて、府中版コミュニティ・スクールへということになっておりますので、それらの協議を踏まえた結果でございます。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。

ほかにかがですか。お願いします。

○委員(崎山 弘君) 今回の改定では、現状行われているものをなるべく具体的に盛り込もうという意図があるのかなと感じました。そういう点で考えますと、基本方針3の(2)のところですけども、今回、文言が変わったところですが、「家庭や地域社会と連携して、社会体験」というところがあるのですけれども、あとのほうにセカンドスクールは具体的に事例としてあるわけですけども、「職場体験」というのをここにに入れてしまったほうが、社会と連携して社会体験というのは、言葉が重複しているだけなので、当たり前のことを書いているような気がするのですが、もし具体例を盛り込むのであれば、ここに今実施されている「職場体験」がこれに入るのではないかと思いますので、入れてみたらいかがかと思えますけれども、どうでしょ

うか。

○**統括指導主事（金子真吾君）** 今、ご指摘いただきましたように、意図するところは職場体験学習等も含まれておりますので、バランスから考えて、文言として載せたほうがより具体性があるかなと感じておりますので、そのような形で検討させていただきます。

○**委員長（久芳美恵子君）** よろしく願いいたします。

ほかにはいかがでしょうか。

それでは、もう一つ私から、基本方針の6の（5）のところなのですが、これは多分書き方のことなんだと思うんですが、「ファシリテーター・サポーター」となっておりますが、「・」の意味というか、例えば「ファシリテーター、サポーター」という可能性もあるのかなとは思いますが、この辺の「・」というのはどう理解したらよろしいでしょうか。上の3番のところでは、大学とか各種学校のところは「、」になっており、「及びNPO・ボランティア」とここで「・」が使われているのですね。そんなようなこともありますので、5番の「ファシリテーター・サポーター」の「・」の意味を教えてくださいたいと思います。

○**生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君）** 現在、「ファシリテーター・サポーター養成講座」という具体的な講座を実施しております、これはそれぞれ8回実施しているんですが、そのうち3回は、同じ社会教育の基本的な理念、例えば人権教育とか、男女共同参画とかという形で共通で講座をやっております、2つ講座があるんですが、1つのチラシで募集している「ファシリテーター・サポーター養成講座」という具体的な事業名なんですね。そういう意味で「・」で同じ講座なのですよという形でここに表記した次第です。以上です。

○**委員長（久芳美恵子君）** もともとファシリテーターとサポーターというのは別のものですよね。講座の内容的に幾つか共通のものがあると。だけれども、とっていらっしゃる方は、自分はファシリテーターのコースである、自分はサポーターのコースであるという。これが別々のものだというのがここを読んで皆様がおわかりになれば、それはそれで構わないとは思いますが、それだけれども、「・」だとどうしても続いてしまうような私自身のイメージがあるものから、その辺はどちらでもよろしいかと思うんですが。

○**生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君）** ご趣旨はわかりましたので、検討いたします。

○**委員長（久芳美恵子君）** お願いいたします。

○**委員（谷合隆一君）** 私が説明を聞き逃したかもしれないのですが、基本方針5の（5）の変更点がありますね。「美術観賞の機会の充実に努める」が「充実を図る」になって、「教育普及事業の充実を図る」が「推進に努める」という言葉に変えたわけですが、イメージ的には、充実を「図る」という言葉と「努める」という言葉だと、「図る」と言うと、具体的に何かしていきそうな気がするんですが、「努める」と言うと、できなくても努力はしましたととれるんですね。「努める」が「図る」になったのは何となく楽しみなのですが、充実を図る」というのを「推進に努める」と変えた部分には何か意図があったんですか。何かちょっと弱いような気がするんですが。

○**生涯学習推進担当副主幹（山村仁志君）** おっしゃるとおりで、教育普及事業自身は、今年度の予算要求の段階で、残念ながら予算的にはカットというか、少し減っております。そういう意味で、内容面で、予算が少なくなっても充実を図りたい、努めたいというような意味の文言の結果になっております。

○委員（谷合隆一君） ありがとうございます。

○委員長（久芳美恵子君） いろいろ微妙なところに影響があるようでございます。

ほかにかがでございましょうか。よろしゅうございますでしょうか。いろいろ事務局等で検討を重ねていただいた結果であろうと思います。

それでは、お諮りいたします。第28号議案「平成23年度府中市教育委員会の教育目標について」決定することにご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

全員異議なしでございます。幾つか委員のほうからご指摘いただいた部分がございます。その部分は踏まえた上で、基本的に原案を認めたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



◎第29号議案 府中市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則

○委員長（久芳美恵子君） それでは、第29号議案の朗読をお願いいたします。

（事務局朗読）

○委員長（久芳美恵子君） 説明をお願いいたします。

○学務保健課長補佐（中村孝一君） それでは、第29号議案についてご説明申し上げます。

2ページをお開きください。新旧対照表に基づきご説明申し上げます。

府中市の学区域の見直しに伴い見直された地域及び見直し候補となった学区域見直し案により公表された地域の児童生徒及び保護者の負担を軽減するために、指定校変更の審査基準を弾力的に取り扱うこととしたため、就学指定変更申立書の様式を変更し、規則改正するものでございます。

中段の指定変更申出理由の「7 学区変更地域のため」を追加し、その他の理由が8に繰り下げとなるものでございます。この様式は、見直された学区に平成22年度から通学希望がある場合は対応するため、平成23年1月1日から施行するものでございます。よろしくご審議くださいますようお願い申し上げます。

○委員長（久芳美恵子君） 今、説明をいただきました。7がプラスされたということですね。7の「学区変更地域のため」という理由が加わって、23年の1月1日からということですが、いかがでございましょうか。ご意見はよろしゅうございましょうか。どうぞお願いします。

○委員（崎山 弘君） 本質とちょっと違うところなのですが、大体、府中市の文章というのは、住所を書くときに府中市何々「町」が入るのですが、いつも私は武蔵台をやっていると、要らないのですね。「町」は括弧にしておいてほしいなと時々思うことがあるのです。必ず「町」が入っているので、いいのかもしれませんが、「町」を使わないところがあるのですか。

○委員長（久芳美恵子君） 様式のところ。

○委員（崎山 弘君） 一般的に必ず「町」が入ってるので、私はあまり快く思っていない。

○委員長（久芳美恵子君） 幾つぐらいあるのでしょうかね。是政、白糸台、紅葉丘、清水が丘、5つ前後はありそうですね。四谷もありますね。6つあるそうです。その地域の方は、大体書くときに「町」を消して書くという感じになりますかね。消さずにこのままでしょうか。

よい案があるといいんですけども、実際に自分がそうでないところに住んでいないと、「町」があるかないかというのは、あまり自覚がなく書いていますけれども、そうじゃない方は、あれと思ったりするのかもしれませんが。

○委員(崎山 弘君) 本質的でないと思いますが。

○委員長(久芳美恵子君) そういうふうなお気持ちになる方もいらっしゃるということでございますので、もし検討できる場合がありますら、特にぜひということでもないということでございますけれども、「町」がつかないところもあるということですので、よろしく願いいたします。

それ以外はよろしゅうございましょうか。

それではお諮りいたします。第29号議案「府中市公立学校学区に関する規則の一部を改正する規則」について決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

異議なしという声がございます。先ほどの崎山委員が指摘なさったところもちょっと加味しながら、原案どおり決定をしていただくということにいたします。

————— ◇ —————

◎第30号議案 臨時代理による処理の承認を求めることについて
(府中市立学校教職員の人事異動について)

○委員長(久芳美恵子君) それでは、第30号議案、朗読をお願いいたします。
(事務局朗読)

○委員長(久芳美恵子君) 説明をお願いいたします。

○指導室長補佐(桑田 浩君) それでは、第30号議案についてご説明いたします。この議案は、府中市教育委員会の権限委任等に関する規則第6条に定める臨時代理の規定に基づき処理をした内容につきまして、報告させていただくものです。

府中市立学校副校長の任命ということで、平成22年12月1日付けで、府中市立府中第一中学校の副校長に本橋智博氏が任命されましたので、それを報告するものでございます。前任校は、世田谷区立尾山台中学校の主幹教諭で昇任でございます。なお、前任者の佐藤久男氏におかれましては、八王子市立上柚木中学校の校長に任命されております。

臨時代理により処理しましたことを報告し、承認をお願いするものでございます。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) 事務局からご説明がございました。府中市立学校副校長の任命につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしゅうございましょうか。

それでは、お諮りいたします。第30号議案「臨時代理による処理の承認を求めることについて(府中市立学校教職員の人事異動について)」決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(久芳美恵子君) では、全員異議なしでございます。原案どおり決定いたします。本日は、この第30号議案で議案としては終了でございます。

————— ◇ —————

◎東京都教育委員会職員表彰について

○委員長（久芳美恵子君） 報告・連絡に移らせていただきます。

報告・連絡の1番につきまして、指導室お願いいたします。

○指導室長補佐（桑田 浩君） それでは、お手元の資料1に基づき、平成22年度東京都教育委員会職員表彰につきまして、ご報告いたします。

東京都教育委員会では、教育の発展、学術、文化の振興に貢献し、その功績が顕著な教職員及び優れた教育実践活動・研究活動を行っている学校・グループを表彰しております。

このたび、平成22年度の受賞者が決まり、本市からの受賞者がございますので、ご報告いたします。

内容でございますが、1件目は個人表彰で、府中市立府中第四小学校、鈴木清校長が受賞いたしました。鈴木校長は、保護者、地域と一緒にになって児童を育てていく学校づくりを目指し、地域と連携した活動を進めたことなどが評価されました。

2件目は団体表彰で、府中市立若松小学校が特色ある教育活動の実践で表彰を受けております。若松小学校は、美術館や浅間山などの環境に恵まれ、こうした自然や文化を活用し、保護者や地域の方と連携して、オンリーワンの学校づくりに努めたことなどが評価されております。加えまして、平成21年、22年度には、自ら考え、楽しく学ぶ子どもの育成を研究主体に、算数科の研究を行い、去る11月2日に行われた研究発表会は非常に好評を博しております。

以上でご報告を終わります。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

このことにつきまして、何かご質問、ご意見ございますか。お願いいたします。

○委員（谷合隆一君） 大変めでたい話だと思います。

1点だけ伺いたいのですが、この表彰につきましては、本市の教育委員会から推薦をされているのでしょうか。

○指導室長補佐（桑田 浩君） 東京都教育委員会の表彰の規定がございまして、それに合致したものを本市の教育委員会から候補者を挙げて、東京都教育委員会で決定しているものでございます。

○委員長（久芳美恵子君） ほかにはいかがでしょうか。よろしゅうございましょうか。

大変めでたいことでございます。個人と団体の表彰、1つずつございます。

それでは、報告・連絡の1番、平成22年度東京都教育委員会職員表彰につきまして、了承いたします。



◎府中ジュニアウィンドオーケストラ第25回定期演奏会について

○委員長（久芳美恵子君） 次に、報告・連絡の2番につきまして、文化振興課お願いいたします。

○文化振興課長兼文化財担当主幹（英 太郎君） それでは、府中ジュニアウィンドオーケストラ第25回定期演奏会について、文化振興課よりご報告させていただきます。

府中ジュニアウィンドオーケストラは、学区や学年を超えた仲間との活動を通じて、青少年の健全育成を図ることを目的として、昭和59年に発足いたしました。現在、小学4年生から中学生まで、約70名の団員が在籍し、毎週日曜日の午前中に生涯学習センターに集まって、専門の講師による楽器指導を受けて練習に励んでおります。このたび、その成果の年に1回の

発表の機会として、第25回目となる定期演奏会を開催することになりましたので、ご案内をさせていただきます。

日時は12月19日(日)の午後1時からの開場、午後1時半からの開演で、会場は、府中の森芸術劇場のどりーむホールでございます。ぜひご来場いただき、日ごろの練習成果をごらんいただきたくお願い申し上げます。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。25回定期演奏会のお知らせでございます。ご質問、ご意見等ございますでしょうか。

1つお聞かせください。「最初に小学4年生から中学生までの団員80名で活動が始まり」とございますが、現在も団員は小学4年生から中学生ということになっておりますでしょうか。

○文化振興課長兼文化財担当主幹(英太郎君) 当初80名で始まりまして、現在約70名在籍しております。若干人数は減っておりますが、ほぼ同じ状況で、小学校4年生から中学生まで参加して頑張っております。以上でございます。

○委員長(久芳美恵子君) ありがとうございます。ぜひ皆様、お時間をお繰り合わせいただいて、演奏会を聞いていただければと思います。

これはもちろん各学校から地域等にも宣伝はしているということですね。

○文化振興課長兼文化財担当主幹(英太郎君) そうでございます。

○委員長(久芳美恵子君) 本当にみんなが頑張って1年間練習した成果ということで、演奏会がないと、進歩もなかなかないと思いますので、観客が多いほうが張り切って演奏してくれることだろうと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

それでは、報告・連絡の2番、府中ジュニアウィンドオーケストラ第25回定期演奏会について了承いたします。よろしく願いいたします。



◎武蔵国府跡の国史跡追加指定答申について

○委員長(久芳美恵子君) それでは、報告・連絡の3番でございます。文化振興課お願いいたします。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹(江口桂君) それでは、武蔵国府跡の国史跡追加指定答申について、別紙資料3に基づきご報告いたします。

1の趣旨でございますが、国史跡武蔵国府跡の追加指定が、平成22年11月19日に開催された国の文化審議会文化財分科会の審議・議決を経て、文部科学大臣に対して答申されました。

今後は、保存管理計画を策定し、市民等と協働で、国史跡として保存・活用を図ってまいりたいと考えております。

次の2の国史跡指定答申地でございますが、府中市本町1丁目14番地1、2及び3の一部でございます。

3の名称は、武蔵国府跡。4の国史跡の対象面積は7,812.76平方メートルでございます。

5の指定の理由でございますが、武蔵野台地上、多摩川が形成した崖の縁辺に位置する古代武蔵国の国府跡で、国府の実態をよく示し、古代武蔵国の政治情勢を示す上でも重要である。今回、その西側の計画的に配置された掘立柱建物群等が検出され初期の国司館等の機能が想定

されている部分が追加指定されるとのことでございます。

なお、今後の予定でございますが、来年、平成23年2月から3月の官報告示をもって国史跡追加指定が決定となる予定と伺っております。

また、発掘調査の成果につきましては、次回の定例会でご報告予定でございますが、来年平成23年1月29日から郷土の森博物館で開催する特別展「発掘！府中の遺跡 古代国司館と家康御殿」でご報告、紹介をさせていただき予定でございます。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。武蔵国府跡の国の史跡ですね。追加指定がされるということでございます。今ご説明があったとおりでございますが、何かご質問等ございますでしょうか。

史跡の追加も含めて国府跡というのは、府中本町の駅のすぐ東側の大体どのくらいの、すべてが指定されたということですか。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） 今回保存が決定しておりました北側の段丘の崖の上の平坦面全部が、これには古代の国司館と徳川家康御殿も含まれておりますけれども、その全体が国史跡の追加指定ということで答申が出されたところでございます。

○委員長（久芳美恵子君） 大分広い地域にわたってということですね。わかりました。

ほかにご質問等。お願いします。

○委員（北島章雄君） 今、フェンスが取れて、中のほうを見渡せる状況で、土がかぶされている状況を確認しているんですけども、今後、ずっと塀をして、そのまま置いておく状況になるのでしょうか。それとも、何かお考えがあるのかお聞きしたいと思います。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） 本年度中に埋戻しが終わりました、現在、フェンスを取りつけている状況でございますが、来年度、現在、予算の策定中でございますが、解説板や現地の建物のところに樹の柱を立てまして、遺構の表示をして、できましたら、本町の駅からそちらが望めて、簡単な解説パネルとパンフレットなども配れるような簡易なものをPRとして現在考えているところでございます。以上でございます。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。本町駅を通る方が横を通ったときにパッと読めるというのはいいですね。わざわざ行ってというよりも、そこで通りすがりに読んでいただいて興味を持っていただくというのもとてもいいと思います。

○委員（北島章雄君） そこは中に入れる状況になるのでしょうか。

○文化財担当副主幹兼市史編纂担当副主幹（江口 桂君） まず、来年度については外から見られる形で、ただし、例えば、何か定期的に市の職員が中で遺跡の説明等ができるような機会はつくってまいりたいと思いますが、通常は中には入れない形で、安全管理をしていきたいと思っております。

○委員（北島章雄君） ありがとうございます。東京競馬場も近いですので、競馬開催日等はそこを競馬場の方々が利用する云々もあるかもしれませんので、塀のほうはしておいたほうがいいかなと思っております。よろしく願いいたします。

○委員長（久芳美恵子君） ほかによろしゅうございましょうか。

それでは、報告・連絡の3番、武蔵国府跡の国史跡追加指定答申につきまして了承いたします。ありがとうございました。

そのほか何かございますでしょうか。

◇

◎教育委員報告

○委員長（久芳美恵子君） 特にならぬようでございますので、教育委員の報告に移ります。教育委員報告をお願いいたします。

○委員（谷合隆一君） それでは、谷合から報告いたします。

11月19日、府中第三中学校の創立50周年記念式典に出席いたしました。私自身の母校でもあります府中第三中学校が創立50周年を迎えまして、はからずも教育委員という立場で出席をさせていただいたことを心より幸運に思っております。前にいらっしゃいます北島委員も同じく卒業生ですが、私たちに限らず、来賓の中には三中の卒業生が数多く出席しております。地域の方々に見守られた本当にすばらしい学校であるなということを再認識いたしました。

そんな中で行われました式典は、在校生が本当にきちっとしておりまして、大変立派にその役目を果たしております。校長先生をはじめ先生方の指導のすばらしさも改めて実感した次第です。三中に限りませんけれども、子どもたちのすべてが、府中は「世界にはばたく府中っ子」というふうに育てておりますが、同時に、自分たちを育ててくれた地域をいつまでも見守るという気持ちを忘れずに成長していただきたいなと思いました。

11月25日、26日と、小学校の連合音楽祭が開催されまして、25日に伺いました。25日は午後のみで行われまして、8校の4年生、5年生の合唱、合奏を聞くことができました。各校それぞれ特色のある演奏で、これも指導者の方によるものかなと思いつつ見ていました。何よりも子どもたち一人一人が楽しそうな表情で参加しているというのが大変印象的でした。

12月10日、小学校のオーケストラ観賞教室。東京都交響楽団をお招きして、オーケストラの演奏を楽しく聞くための勉強会に行つてまいりました。司会に多方面で活躍されております朝岡聡さん、昨年も同じ方だったと思いますが、オーケストラ全体の構成ですとか、楽器一つ一つの特徴なども上手に説明してくれたり、演奏者の方も皆さん楽しく音を出してくれておりまして、子どもたちにとつてもオーケストラがとつても身近に感じられるすばらしい機会になったのではないかなと思います。

連合音楽祭もそうですけれども、自分たちの合唱や合奏もそうですし、音楽というものを職業にしていくというのは簡単なことではありませんけれども、歌を歌うことですとか、楽器を演奏することや、いろいろな音楽を聞くことなどは、趣味として本当に音楽を楽しむということは、その人の人生で大きな心の支えになっていくものだと思います。

先ほども23年度の教育目標の中でありましたけれども、スポーツや美術も同じだと思うのですけれども、広くとらえればすべての教科がそうだと思うんですが、ぜひ公教育の中で、家庭や地域では体験できないことを今後もどんどん取り入れていただいて、学力はもちろんなんですが、人間としてバランスのとれた社会人の育成というのを府中市の教育委員会も目指していただきたいなと思います。以上です。

○委員（崎山 弘君） では、崎山から。皆さんに重複しないようにと思つて、12月11、12日に日本ワクチン学会というのがありまして、私はプログラム委員として出席していただのですが、2点感じるところがありました。

まず、日本全体として、2012年までにはしかを撲滅するというのを日本は宣言をして

いるのです。ところが、なかなかなくなっていない。現時点ではしかの患者数は、今年1月から今までに、今、全数調査なので実数が出ていますのですけれども、470名ぐらいはしかの患者さんがまだ出ているんです。やはり接種率がまだ十分上がっていない。特に今、はしかのワクチンは1期、2期、3期、4期とあるのですけれども、中学生の第3期の予防接種、あるいは高校3年生の第4期がなかなか進んでいないんです。高校3年生は教育委員会と離れているので、なかなかここでどうこうというのは難しいのですけれども、第2期、つまり、来年小学校に入学する人たち、今、実際に中学校1年生に在籍している人たちに対して、接種を積極的にもう少し勧奨しなければいけないのではないかという話になっています。

最近、私はよくこの話をするので、府中市は第2期、つまり、小学校入学までにはやったださる方がすごく増えていますので、こういう流れはぜひ維持していただきたいと思うことと、今、中学校1年生に対して、もう少し積極的に接種の勧奨ができればよいのかなと思いました。

もう一点、今回、補正予算で1,052億円予算がついたものがありまして、それが乳幼児に対する肺炎球菌ワクチン、ヒブワクチンというのと、もう一つ、中学校の女の子に対して子宮頸がんワクチンが公費で接種することになります。なお、これも我々医者から見ると、ぜひ積極的にやってもらいたいところではあるのすけれども、プライバシーにかかわることであったり、個人の健康にかかわる、価値観にかかわることなので、拙速な対応をしてはいけないとは思いますが、私としては、これから医師会のメンバー、あるいは学校の先生方にも、正確な正しい情報を伝えて、恐らく来年度からでいいと思うのすけれども、特に子宮頸がんワクチンは全然緊急性がないので、4月以降の実施で私は構わないと思っているんですが、ぜひ府中市としても積極的に取組んでいただきたいなと考えています。

特に、大体こういう初めて行われる事業というのは、一番初めに間違った知識が入ってしまうと、それを訂正するのがすごく大変なのです。ですから、まずはじめに、まだ皆さんの理解されていないところで正しい情報を提供するのがないと、その上で、ゆっくりちゃんと判断して考えて受けていただければよいと私は考えているので、4月以降、これからどういう動きになるか、私としても注目していきたいし、自分としてもなるべく積極的にかかわっていきたいと考えています。以上です。

○委員（糸満純一郎君） それでは、私のほうから報告を申し上げます。

案件が多いので、概略、飛ばしながらご報告をいたします。

11月19日に三中の50周年、私も出てまいりまして、最後の合唱も非常によくて、全員一致ですばらしい式典ができたなと思いました。

11月22日なのですが、東京都の小学校体育科の研究会、多摩地区発表会というのが六中で行われました。当日、ちょっと雨が残りまして、グラウンド、校庭が使えなかったのが少し残念なのですが、極めて充実した発表会が行われております。

翌日、11月23日の勤労感謝の日ですが、多摩川マラソンに参加してまいりまして、スターターも務めさせていただきました。

翌日の11月24日、東京都の大原教育長が市長に面会に参りまして、私も同席させていただきました。昨年行われました中学校の駅伝の第2回が23年3月21日に、今度は味の素スタジアムを中心にその周辺の周回道路で実施をされるということで、地元市にごあいさつということでございました。

11月26日には、ちょうど同時開催でしたが、特別支援学級の連合学芸会、それから小学校の連合音楽祭の2日目、2つございまして、両方同じ時間帯でしたので、最初に特別支援学級の連合学芸会を半分見まして、残り、最初はふるさとホール、そしてどりーむホールに移りまして、小学校の連合音楽祭を見させていただきました。どちらも熱演で、素晴らしい出来だったと思います。

翌日の11月27日、書道連盟の50周年がございまして、出席の上、ごあいさつをいたしました。

翌28日の日曜日、P連のスポーツ大会がございまして、お母さん方中心でしたが、校長先生もチームに入るなどして、卓球とバレーの決勝大会が行われまして、どちらも非常にレベルが高くてびっくりしましたけれども、熱戦が繰り広げられておりました。

11月29日からつい先日の12月14日まで、第4回府中市議会定例会が開催されております。この内容につきましては、最後にご報告させていただきます。

12月2日、学校歯科医会の学術講演会がございまして、出席をさせていただきました、講演会を聞かせていただきました。

12月4日、早起き野球連盟の納会がございましたので、出席してごあいさつをいたしました。

12月5日の日曜日ですが、P連のゴルフ大会ということで、PTA連合会と校長会、副校長会、そして教育委員会ということで親善のゴルフ大会に出席いたしまして、当日は、谷合、北島委員にも応援をお願いいたしまして、谷合委員は見事準優勝ということで、大変素晴らしい成績を納められました。

12月9日木曜日ですが、歯・口の健康づくり発表会というのがグリーンプラザで行われまして、小柳幼稚園が研究指定園ということで発表いたしました。市長さんも当日はお祝いに駆けつけていただきました。

12月10日、小学校のオーケストラの観賞教室に私も参加してまいりました。

12月11日土曜日、人権作文発表会が行われまして、市長さんの代理ということでごあいさつをさせていただきました。前半を聞かせていただきましたが、本当に素晴らしい内容で、感動的といいますか、本当に子どもたちの作文が素晴らしくてびっくりいたしました。

それで、最初に申しあげましたとおり、第4回の市議会定例会の概要を簡単にご報告申しあげます。

11月29日が初日でございまして、翌日の11月30日と12月1日に一般質問が行われました。この内容につきましては、次回の教育委員会で各部長さんからご報告をいただけるものと思います。

12月3日に文教委員会が開催されまして、ふるさと府中歴史館の新設条例、これをご審議いただきまして、ご議決をいただいております。

そのほかには市民会館等4館の教育施設の指定管理者の指定議案が出されまして、どちらも教育委員会で報告があったとおりの内容で、ご議決をいただいております、最終日に本会議で議決され、最終確定をいたしております。

12月14日、これが最終日だったわけですが、ここで教育委員会関連として、崎山委員と谷合委員が今月21日に任期満了となるために、他の人事案件とともに、教育委員会委

員の任命の同意という案件2件が提出されております。ここで、崎山委員におかれましては再任ということで同意をされております。また、ご勇退を表明されております谷合委員の後任といたしまして、本年3月まで第五小学校の校長先生を務められ、また、校長会長も務めていただきました齋藤裕吉氏の任命が同意をされております。任期は12月22日から4年間ということになります。以上でございます。

○委員（北島章雄君） 北島より報告させていただきます。

私も11月19日、第三中学校の創立50周年式典に参加いたしました。式典の部分は本当にどの学校もすばらしく、粛々に行われており、また、やり方が全部同じなので、これは印象なのですが、出席されている市議会議員の先生方が全部同じなものですから、私語が多くて、それが目立ったなという印象があります。あと、生徒たち、参加されている方たちは一生懸命式をやっておられたので、感心いたしました。

11月20日に第三小学校の学芸会に行つてまいりました。生徒数が多いため、役の割り振りだとか、せりふだとか、指導している先生方が本当にご苦勞をしているのではないかなという思いをしながら見てまいりました。児童たちは本当に元気いっぱい、そして自信を持って演技をして、見ている大勢の保護者から大きな拍手を浴びて、本当にいいなと思つました。

ただ、生徒数が多いものですから、観覧に来る保護者の方々が非常に多いものですから、体育館前の受付には長蛇の列ができておまして、これもすごいなと感じました。1年、2年、3年とやっておるのですが、入れ替え制になっているので、体育館の中は満杯になっておりました。

11月23日、第33回の府中多摩川マラソン、教育長、崎山委員と一緒に行ってまいりました。当日、最初、雨がすごく降っていたのですけれども、スタートをするときには雨も上がつておまして、ただ、スタート地点が野球場でしたので、下がちょっと、土のほうを心配はしておったんですが、スムーズにスタートをし、そしてまた見ていたのですけれども、大勢の方々がゴールを駆け抜けていきました。そのときに私の知っている、男子60歳以上の部に、69歳の、谷合委員もご存じなのですけれども、佐々木さんという方が出ておまして、本当に健脚で、すばらしいタイムで帰つてきましたので、感心いたしました。

11月26日に、やはり教育長と同じように、特別支援学級の連合学芸会、そして小学校の連合音楽祭に行つてきました。特別支援学級の学芸会なのですけれども、府中の森芸術劇場のふるさとホールで行われたのですけれども、演技している子どもたちが輝いておりました。そのときが一番輝けるときだというふうに誰かおっしゃっていたことを思い出しました。体の障害を負つて、これから大きくなっていくわけなのですけれども、拍手を浴び、舞台上で演技する。本当に心に残る連合学芸会になったのではないかなと思つております。

12月10日の府中市立小学校オーケストラ観賞教室に参加しました。司会者の方が聡明な方で、生徒たちも聞きやすく、音楽に興味を持つご案内をしておられました。本当にいい観賞教室でなかったかなと思います。こういうことが毎年毎年続いてほしいなと願つております。以上です。

○委員長（久芳美恵子君） ありがとうございます。

それでは、久芳から1点だけご報告させていただきます。

11月27日の土曜日、夕刻からでございますが、ルミエール飛鳥で「府中市国際交流サロ

ンの集い2010」が開催されました。前委員長でいらっしゃいました植草先生からのご招待を受けて出かけてまいりました。基本的には、日常的に交流サロンという別のところで日本語の指導をなさっているわけですが、日本語指導だけではなくて、生け花とか、絵手紙とか、インドネシアダンス等々も教えておいでということでした。

当日、ボランティアの方といろいろな国から、特にアジアからの方が多のですが、200名以上の方がいらっしゃったのではないかなと思いますが、教える側はすべて皆様ボランティアだということでした。

当日、会場には11か国三十数種類の料理がワーツと並べられて、彩りも非常に鮮やかで、各国の人たちがほかの国に負けてはならじと、すごく競い合う心を持って自分たちの郷土料理をつくっているそうでした。それも賞味させていただきましたが、その料理だけではなくて、アトラクションでインドネシアダンスが披露されました。すべて女性の方だったのですけれども、14人の方がインドネシアの方かなと思ったら、9か国の方々がそこに参加してインドネシアダンスを踊っていらしたり、非常にインターナショナルな雰囲気でした。

ごあいさつも皆さん日本語でなさっていて、ご夫婦でごあいさつをなさった方がいたのですが、奥様のほうがすごく流暢なのですね。奥様のほうが後から日本に来ただけでも、ご主人のほうは、奥さんがそういうふうにお話しになるので、僕はあまり上手じゃありませんとおっしゃっていらっしゃいました。そんなほほえましい感じのお話もございました。

いろいろな方々が出演されて、歌があったり、アマチュアバンドの演奏があったり、大変盛況でした。そのような会が、十何年でしたか、続いていて、外から日本に来る方、特に府中に来る方に対して、無料で語学や文化、いろいろなものをご指導していらっしゃるということに非常に感動いたしました。

私からは以上でございます。

それでは、これもちまして、平成22年第12回府中市教育委員会定例会を閉会といたします。どうもご苦労さまでございました。



午後4時04分閉会